特集　自由研究「ぼくの家は浄土真宗」

しんぼう君と一緒に学ぼう！ 夏の自由研究

「ぼくの家は浄土真宗」

小学生のしんぼう君が、お家の宗教「浄土真宗」をテーマに夏休みの自由研究。お寺の数を身近なものと比べたり、お仏壇のおかざりを学んだり、いろんな角度からお勉強します。皆さんも一緒に仏教のギモンをたのしく学びましょう！　（2、3、5面につづく）

きっかけ

ぼくの家は浄土真宗なので、「浄土真宗とは何だろう」と思って、アミダさまや親鸞聖人について調べてみました

イラスト・廣田慶枝

仏教のギモン　その1

お釈迦さまとアミダさま　違いを調べよう！

インドの王子さま

今から約2500年前、北インドにシャーキャ（釈迦）族と呼ばれる人たちが小さな国をつくり、カピラ城というお城に住んでいました。王さまはシュッドーダナ、お妃はマーヤーといいます。それから王子さまが誕生しました。王子はゴータマ・シッダールタと名付けられました。この方がお釈迦さまです。

シッダールタは29歳の時、すべての人が幸せになる道を求めて出家し、6年間苦しい修行をして、35歳の時に「さとり」を開きました。さとりとは、ものごとの本当のあり方に目覚めることです。

さとりを開いたシッダールタは、シャーキャ・ムニ・ブッダ（釈迦族の聖なるブッダ＝釈迦牟尼仏、釈尊）とよばれ、「縁起」や「八正道」（8つの正しい行い）など、「八万四千の法門」ともいわれる、とてもたくさんの教えを残されました。インド各地を旅して教えを広められ、80歳で亡くなりました。

お経に説かれる仏さま

お釈迦さまが亡くなられた後、お弟子たちがその教えをまとめてお経（経典）ができました。そのうちの『仏説無量寿経』にはアミダという仏さまについて、このように書かれています。

アミダさまはとおいとおい昔、一人の国王でした。王さまは出家して「法蔵（菩薩）」と名のり、「世自在王仏」という仏さまの弟子になりました。法蔵菩薩はたくさんの仏さまのさとりの世界を見て、五劫（劫は時間の単位）の間じっくりと考えた後、人々を救うために四十八の願いをおこしました。そして、さらにとてもとても長い年月をかけて修行され、十劫の昔にアミダという仏さまになって、西方に清らかな国（浄土）をつくられました。

漢字の「阿弥陀」は、古いインドの言葉の「アミターバ」「アミターユス」を漢字に当てたものです。ミタは量る、アは打ち消しなので、量ることができないという意味で、アミターバは無量光、アミターユスは無量寿と訳されます。「南無阿弥陀仏」と称えるお念仏は「アミダさまに南無（帰依）します」という意味で、お名まえを称えるので称名ともいいます。

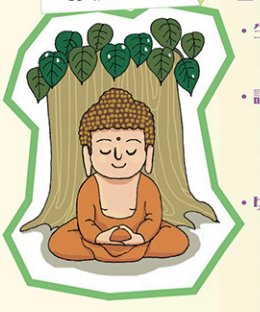
浄土真宗ではアミダさま（南無阿弥陀仏）をご本尊としています。

アミダさま

■ ひと言メモ

- **「劫」はどれぐらいの長さ？**
  40里四方の石を100年に1回ずつ薄い衣で払って、その石がすり減ってなくなっても尽きないほどの時間。（※いろいろな喩えがある）
- **「浄土」で何をされているの？**
  『仏説阿弥陀経』にアミダさまは浄土で今まさに人々を救うため説法されていると説かれる。無量寿、無量光は時間と空間を超えて限りないということなので、今まさに私のところに到り届いてはたらいてくださっていると味わえる。

お釈迦さま



■ プロフィール

- **生没年：紀元前5～4世紀頃**
  仏教を信仰したアショーカ王の即位年（268年頃）を基準に算出しているが、諸説ある。
- **誕生日：4月8日（花まつり）**
  生まれてすぐ七歩あるいて「天上天下唯我独尊」（私のいのちは天にも地にもこの世の中にたったひとつしかない尊いいのちである）と宣言されたと伝わる。
- **ゆかりの地（四大聖地）**
  ルンビニー　…ご誕生の地
  ブッダガヤー…さとりを開いた（成道）地
  サールナート…最初に説法した（初転法輪）地
  クシナガラ　…ご往生（入滅）の地

本願寺新報
hongwanji journal

8月1日（土曜日）

毎月1日・10日・20日発行

発行所　本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派（西本願寺）
〒600-8501　本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代)／FAX075(341)7753

お盆特集号（本号16ページ）

6・7面　親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年に向けて
法話「親鸞聖人いまさずは」
コラム「時代を問わない真実」
10・11面　新たな生活スタイルを考える　夏の薬膳料理と手作りおもちゃを紹介
16面　家族でクイズを楽しもう
8・9面　宗派メッセージポスター
新型コロナウイルスの感染拡大に伴うすべての人へのメッセージ。お寺などの掲示にぜひご活用を

赤光白光

お盆は先祖に思いを馳せる時節。ご先祖は一体どこにおられるのか？有るか無いか、といったモノの見方に縛られる現代人には気になるところだ。ただ、先祖について確かなことが一つ。それは先祖がいなければ私は存在しないということだ。

▼『0歳児がことばを獲得するとき』（正高信男著）に次のようにある。9カ月頃になると子どもの認知能力は急速な発達を遂げる。それまでは遊びの場面でオモチャに布をかけて見えなくしてしまうと、子どもは、そこにはもう何もないかのように、オモチャへの関心を失ってしまう。ところが月齢9カ月に達すると、自分で布を取り去り、下に置かれているオモチャで遊びを持続するようになるという。

▼つまり、子どもは9カ月に達すると、目に映っていなくても、その存在を理解するようである。私もまた、私という存在を通して、目に見えない先祖を理解し、目に見えない先祖に触れていく。これは確かな事実だ。

▼私が阿弥陀さまの名を称え、合掌礼拝する。そこに阿弥陀仏のはたらきがあると教えてくださったのが親鸞聖人だ。磁石は鉄を吸いつける時、鉄を磁気で満たし、鉄を磁石にしてしまう。そのような阿弥陀仏のはたらきにより、私がお念仏を称え、合掌礼拝する姿があるとすれば、それこそが阿弥陀仏の存在の証しだ。私の存在を通して先祖に触れ、お念仏を通して阿弥陀仏に触れていく。お盆はご先祖だけでなく、阿弥陀仏の存在を家族に伝えてほしい。（N）

福岡支局 〒812－0002 福岡市博多区空港前3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円（年間4,080円）定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話
宗務所 075(371)5181／大谷本廟 075(531)4171

本願寺ホームページ　http://www.hongwanji.or.jp

定期刊行物のご案内

大乗 DAIJO
年間購読料 4,500円(税・送料込)
1冊 375円(税・送料込)
毎月1回発行

親鸞聖人いまさずは
親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年に向けて綴るエッセー。

お坊さんのいる病院
いのちに寄り添うビハーラ僧が日々の思いを語ります。

連研ノートE+ 12のお話
「12の問い」について考える「12のお話」。

釈徹宗の随縁探訪
毎回ゲストを招き親鸞聖人について語り合います。

和のこころ 親鸞聖人のご和讃
龍谷大学の玉木興慈教授が日常の出来事を通じながら和讃を味わいます。

仏教壮年の声
各地で活動する仏壮会員の取り組みを中心に、ニュースや話題をお伝えします。

本願寺の月刊誌

季刊 せいてん
編集・浄土真宗本願寺総合研究所　発行・本願寺出版社
年間購読料 2800円(税・送料込)
1部700円(税・送料込)
年4回発行(3月/6月/9月/12月)

伝道
編集・僧侶養成部・布教研修部　発行・本願寺出版社
年間購読料 2000円(税・送料込)
1部1000円(税・送料込)
年2回発行(3月/9月)

本願寺新報
浄土真宗のみ教えをお年へ、ご家庭へ
年間購読料 4,080円(税・送料込)
1部120円(税・送料込)
毎月3回(1日・10日・20日)発行／毎号8ページ
お盆(8月1日号)と新年(1月1日号)は特集号

読者のひろば ―投稿募集中―
お寺でのつどい、家庭でのほのぼのとした話題、また楽しいスナップ写真などをお待ちしてます。

読者参加のページ

好評連載中
コラム　季語を味わう　能美 顕之
「ホトトギス同人」、日本伝統俳句協会新人賞(2015年)の僧侶が、俳句の「季語」を通して綴る法味エッセー。

いのちの葉（しおり）　堀 浄信／野呂 靖／安藤 光慈
仏典や親鸞聖人、妙好人、念仏者など、浄土真宗のみ教えを味わうエッセー。生き生きとした言葉をお届けします。

西本願寺 医師の会のひろば
浄土真宗のみ教えに学び、仏教的視点で医療の現場と向き合う「西本願寺医師の会」の会員医師が交代で、病気や健康の相談などに答えていきます。

ご門徒の新聞

本願寺出版社　0120-464-583　FAX 075-341-7753　※FAX番号のお間違いにご注意ください　〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺)　http://hongwanji-shuppan.com/